



吉泉ひでお

●発行/国会事務所 〒100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館423号室 TEL03-3508-7304

第175回臨時国会終わる!



先の参院選で民主党が大敗、自民党が51議席を獲得(改選第一党)したことから、国会は再び、衆参で与野党の多数派が異なる「ねじれ」状況になりました。

召集された第175回臨時国会では、菅総理がこの「ねじれ」にどのように対処してゆくのか注目が集まりました。対処如何によっては与野党間の緊張が一気に高まり、早期の解散総選挙もあり得るからです。

しかし衆参両院で行われた予算委員会で、菅総理は、与野党の話し合いを重視することを繰り返し強調しました。前国会までは、ややもすると、数を頼んだ強引な運営が目立っただけに、私もこの点を心配していたのですが、国会は、ようやく議論を尽くすという正常な姿にもどりつつあります。

衆参で与野党が「ねじれ」しているということは、与党にとっては不都合なことかもしれませんが、議会制民主主義を成熟させていく上では、良いことなのだと思います。この臨時国会では、話し合いで二つの法律が成立しました。

臨時国会は8月6日で終了し、9月には第176回臨時国会が予定されています。話し合いを重視するという国会運営の下、私たち社民党も、選挙で公約した政策が一つでも多く実現するよう一層努力する決意です。



私の質問 国会中審査

8月28日 農林水産委員会(口蹄疫に関する集中審議)

公明党東委員の質問に、政府の答弁チグハグ。納得いく答弁があるまで質問しないと 黙り込む。この後に私が質問に立つー

○吉泉委員 社民党の吉泉です。異様な雰囲気です。重い雰囲気です。この場の中で質問させていただき、大変、自分自身も慎重にまた構え方をしておるところでございます。

東委員については、本当に残念だろうというふうに思っています。きょうのこの大切な口蹄疫の集中質問に対し、それぞれ地元に戻って、畜産農家、さらには商工業者、ホテル等々含めて、今の置かれている現状、そのことを含めながら、きょうの質問に臨んだんだろうというふうに思っています。しかし、残念ながらこういう事態。私は、もっともっと、そういう意味では、私ども議員ではございますけれども、ぜひ政府等についてもしっかりした対応をお願いしたい。まずそのことを申し上げさせていただきながら、質問させていただきます。以下質問趣旨

1. 口蹄疫の発生源および感染拡大経路の徹底調査と全容解明について。
2. 口蹄疫特措法23条の地域再生のための基金を早期に創設し、地域経済、風評対策、金融支援などを含め県の復興対策を支援すること。
3. 自治体が国家防疫のために行ってきた埋却地確保や消毒作業など防疫措置に係わる必要経費のすべてを全額国が手当することについて。



第175回臨時国会 8月3日農林水産委員会

米価下落対策と米の管理について

○社民党の吉泉秀男です。

全国でも有数な穀倉地帯米どころ庄内平野が私の地域です。今、生産者の悲鳴が大きくなっております。米価が入札するたびに下がり続けながらも買い手が見つからない。JA等については、仮渡金12300円よりも下回って売りに出さなくてはならない。こういう中において、22年産の米価に直接反映をしていくのではないかという一つの生産者の不安が大きくなっております。こんな現状の中において、大臣の方から、適正米価、このことに対する考え方、答弁が出されたわけでございますけれども、「22年産は所得補償があるから心配ない」という答弁ですが、今の、米に対する危機感、認識等について、大臣はどう受けとめているのか、もう一度お伺いさせていただきたいと存じます。

○平成19年度、輸入した事故米でございますけれども、82トンから、これが調べていくうちに3千トンに広がってきている。今調査をしているわけでございますけれども、調査が進めば進むほどまた増えていくのではないかと自分自身は心配しております。農林水産省は当初私たちに、このMA米については飼料用米として確認したと報告をしてきた。にもかかわらず、実際は不正流通していた。そして今、不正流通をした会社を公表して処分をしているわけでございますけれども、新たに3千トンが明らかになった。とすると、現在公表されている以上に、また新たな業界・会社が出てくるんじゃないかと心配をしております。そんな面で、現在どこまで調査が進んでいるのか、いつまでに明らかにしていこうという考えなのか、このことをお伺いさせていただきます。

この10月から米の管理体制がすべて民間委託になります。しかし3千トンの問題が明らかにされないままの民間委託は納得できません。民間委託によって、不正流通が二度と起こらないと確約できるのか、このことをお伺いさせていただきます。また10月から民間委託になるのであれば、3千トンの調査結果を、10月前までには公表していただきたい、このことを要望しておきます。

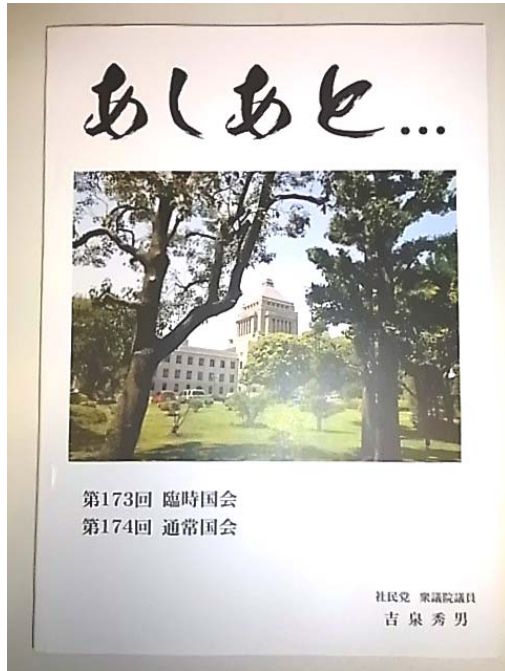
8月6日 梵天大ホールにて

吉泉秀男後援会総会ビアパーティー

- 毎年恒例の「後援会総会ビアパーティー」ここ2年ほど選挙のため規模を縮小して行ってきた。今年は国会議員としての総会にあたる。6月には町議選、7月には参議院選と選挙続きだったため、その総括も兼ねてである。
- また、来春には県議選も控えているため、皆さんの意志統一も図られる。梵天大ホールは600名ほどの参加を頂き大いに賑わった。庄内町出身の歌手デビューを果たした天音里望さんの力強い歌声あり、ハワイアン風の素敵なショーで盛り上がり、久しぶりの先生との対面であちこちで会話が弾み、生ビールの美味しさも増したのではないだろうか。最後に「ガンバロウ！」で締めくくられ、今後の先生の活躍に熱い期待を膨らませた。



おしらせ



このたび、吉泉代議士の国会での質問やブログを一冊の本にまとめ出版することになりました。代議士の国会活動の一端、人間味あふれる性格を知って頂ければ、これ以上の幸せはありません。

秘書となって5ヶ月。振り返れば第174国会は「質問づくり」で過ぎたという感じです。この間、いろんなことが起こりました。普天間基地問題を巡り福島大臣が罷免され、社民党は連立政権離脱、鳩山総理・小沢幹事長辞任、菅総理誕生、亀井大臣辞任と、政治は時に人々の予想を超えて動きます。

口蹄疫病という大災害も発生しました。この問題に対する代議士の質問は出色でした。活字になった文章では伝わらないのが残念ですが、政務三役の答弁はしどろもどろ。さすがは家畜共済を担当した人だと感心したものです。また、大防法・水濁法、廃掃法、地球温暖化対策基本法、環境アセス法等、連日のように質問が入り、まさに「質問責め」の毎日でした。しかし過ぎてしまえばやはり楽しい思い出です。国会が閉会した今、代議士は参議院選挙で走り回っていますが、一言「御苦労さまでした」と感謝の気持ちを伝えたい思いでいっぱいです。一年間の活動のまとめです。ぜひ一冊皆さんのお手元に...

政策秘書 宇都より